

五年 国語「動物たちが教えてくれる海の中のくらし」 ①

五年 組 番 ( )

解答例

単元のめあて

文章全体の構成を確かめ、筆者の伝えたいことの内容の中心を考えながら読もう。

一 P三十三～三十九を声に出して読もう。

二 教科書に形式段落を書こう。↓全部で( 10 )段落になる。

三 初めて知ったこと、不思議に思ったこと、驚いたことなどを手がかりに感想を書こう。

自分で考えよう！

四次の語句の意味を調べよう。(国語辞典やインターネットを活用しよう。)

語句	意味
表面	自分で調べよう！
平均	
水深	
手法	
考案	
装置	
ほ乳類	
潜水	
要する	

五年 国語 「動物たちが教えてくれる海の中のくらし」②

五年 組 番（

解答例

）

今日のめあて

文章に書かれている内容を確認めよう。

一 P三十三～三十九を声に出して読みましょう。

二 次の問いに答えましょう。

①文章の『はじめに』どんな話題が示されていますか。

★動物たちは海の中で（何を見て）、（どんなことを考えて）

日々くらしているのか。

★海の中の動物たちのくらしぶりをを知るための新しい手法である（バイオロキング）について。

②文章の『なか』の部分では動物たちの例が挙げられています。どんな例の動物が挙げられていますか。また、それらの動物の調査からわかったことは何ですか。

【動物】

ペンギン  
アザラシ  
マッコウクジラなど



【わかったこと】

動物たちの（泳ぐ速さ）と  
（体の大きさ）の関係

③筆者が一番伝えたいことは何でしょうか。それは、どの段落に書かれていますか。一文でかきぬきましょう。

（ 10 ）段落

★（動物たちから学ぶことはまだたくさん残っている。）

五年 国語 「動物たちが教えてくれる海の中のくらし」 ③

五年 組 番（

解答例

今日のめあて

文章の構成を考えよう。

一 P三十三～三十九を声に出して読み、文章全体を『はじめ』『なか』『おわり』の三つの部分に分けよう。

はじめ	( ① ) と ( ② )
なか①	( ③ ) と ( ④ )
なか②	( ⑤ ) と ( ⑥ )
なか③	( ⑦ ) と ( ⑧ )
おわり	( ⑨ ) と ( ⑩ )

文章に出てくる  
動物たちに着  
目するとかんた  
んに分けられる  
よ！



二 『はじめ』『なか』『おわり』は、『序論』『本論』『結論』といいかえることができます。

教科書四十ページのおさえるを見て、表をまとめよう。

(はじめ) Ⅱ	序論	これから説明しようとする話題や、説明の観点、 問いかけなどを提示する。
(なか) Ⅱ	本論	結論へ向けて、話題のくわしい内容を、事例を挙げ ながら述べていく。
(おわり) Ⅱ	結論	本論を受けて、話題や問いかけに対する答え、筆者 の考えなどを述べる。

三次の語句の意味を調べよう。(国語辞典やインターネットを活用しよう。)

語句	意味
生息環境	自分で調べよう！
進化	
対象	

五年 国語 「動物たちが教えてくれる海の中のくらし」 ④

五年 組 番( ) 解答例

今日のめあて 文章の全体の構成を考えて、表に整理しよう。

「P三十三〜三十九を声に出して読み、文章全体の構成を表に整理しよう。」

結論		本 論						序論		まとめり
		本論③		本論②		本論①		②	①	段落
⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③			
【筆者の中心的な考え】 ◎動物たちから( ) 学べることは、まだたくさん残されている。( )。		【調べた結果から考えたこと】 泳ぐことによる(エネルギーの消費)を最小限におさえるための (いちばんよい速度)が時速(四・〇)から八・〇キロメートルである。		【調べて分かったこと】 (泳ぐ速さは)は、時速(四・〇)から八・〇キロメートル(のせいまい範囲におさまっていること)。		【筆者が調べたこと】 (マッコウクジラ)の(泳ぐ)速さと(体)の大きさの関係 (マッコウクジラ)もペンギンやアザラシと(同じような速さで)泳いでいた。		【筆者が考えたこと】 (ペンギン)と(アザラシ)の(泳ぐ)速さと(体)の大きさの関係 (体)が大きいからといって、必ずしも(速く泳ぐ)わけではない。		◎わたしたちは、海の中の動物たちが、(海の中)で、 (どのようにくらししているのかは、)わかっていない。 【問い】動物たちは(海の中でどのようにくらししているの)だろうか。 ◎(バイオロギング)という新しい手法でデータをとることができる。